

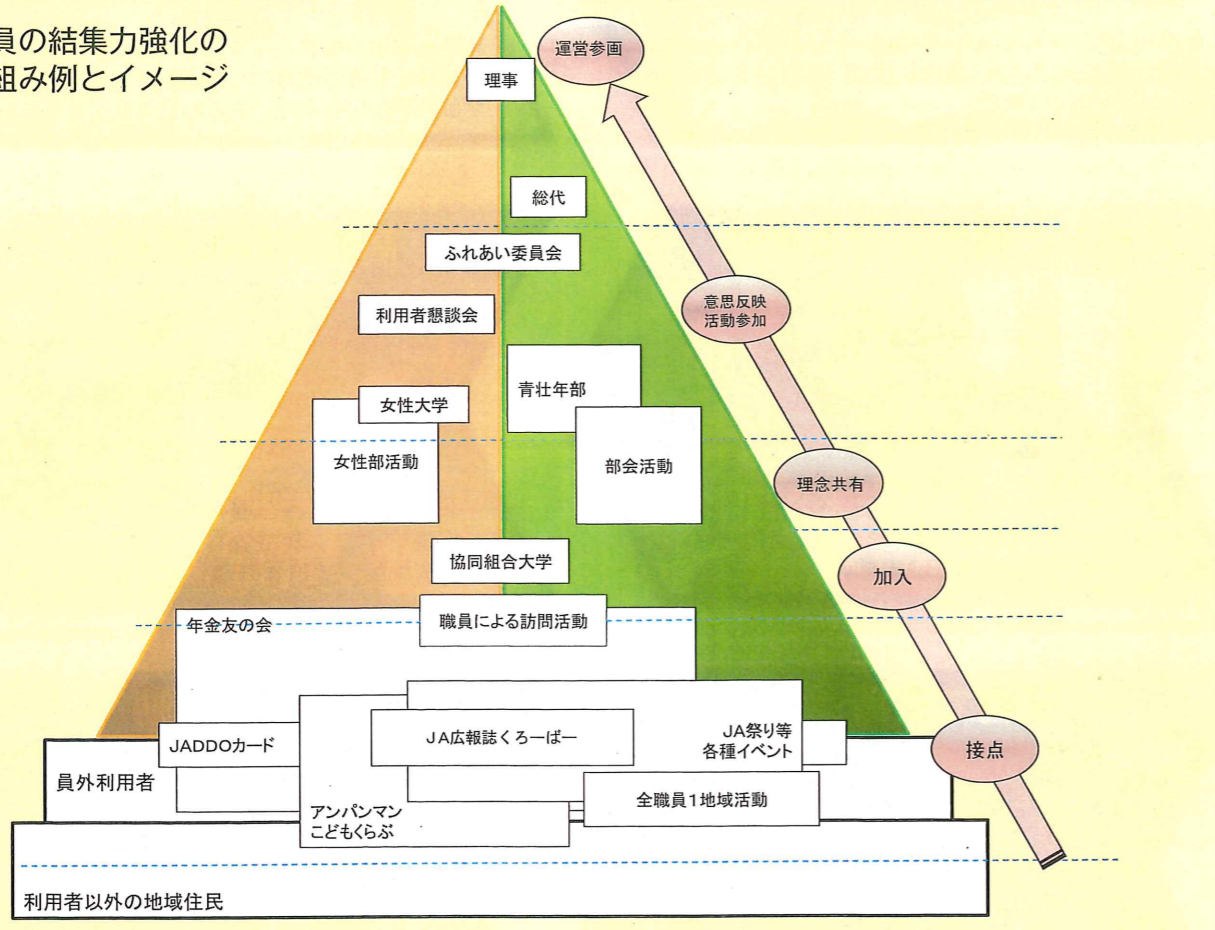
IV さらに未来のために

組合員の結集力強化宣言

今後、JA北さつまは、組合員の力を結集し協同組合らしい事業・活動を展開するため次のことを実践します。

- ① 組合員・地域住民との対話を重視した事業・活動を展開します。
- ② 准組合員についても意思反映・運営参画いただく方策を検討します。
- ③ 青壮年・女性組織の活性化に取り組むとともに、JA運営参画をすすめます。

組合員の結集力強化の
取り組み例とイメージ



現在、JA北さつまでは正組合員・准組合員を次のように位置付け、皆様に役割発揮をお願いしています。

	正組合員	准組合員
組合員の位置付けと期待する役割	○地域農業を支えるリーダー 農業生産の維持・拡大に向けたJA運営への積極的参加と、協同組合のメリットを自らの事業にご活用ください。	○JAとともに農業・地域を支えるパートナー 管内農畜産物の購入・消費による農業の応援と、JA事業・活動へ積極的にご参加ください。
組合員の役割発揮に向けた組合の方針	営農指導等の戸別訪問や、生産者部会等の組織活動、総代会や座談会等の機会を活用し、協同組合理念の共有とJAの事業・活動に係る意見の聴取を行い、意見についてはJA内で共有・フィードバックすることによって意思反映・運営参画を促進します。	全戸訪問や来店時等の機会を活用し、広報誌・支所だより等のツールによるJA事業・活動への理解・共感の醸成と、各種のつどいや支所活動へのご案内を通し、意見聴取の機会を設けて参ります。

JAはどなたでも加入できます。JAADDカードと合わせ、お気軽にご加入ください。

その先の地域農業とくらしへ

JA北さつまのさらなる挑戦

JA北さつまでは、経営理念である「農業を振興し食と農と水を守り、人づくり・組織づくりを通じて地域に信頼され、愛されるJAを目指す」ことを目的に、第3次中期3ヵ年計画で掲げた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱に、様々な施策にチャレンジしてきました。今後さらに、自己改革に集中的に取り組むことで、農業とくらしの発展に貢献して参ります。

I 農業振興への取り組み

基盤的取り組み

【地域営農ビジョン】

品目別に中長期の振興計画を立て、産地の維持・形成と中核農家の育成をすすめました。今後も品目を拡充し、ブランドの向上と新たな産地形成を目指します。

【担い手・法人サポートセンター】

「北薩事務所」の開設により、より現場に密着した指導体制でJAと県連が一体となった対策を展開しました。今後も行政や関係機関との連携を強化し、「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」に取り組みます。

【出向く体制と声を聴く運動】

担い手・法人サポートセンターと連携し出向く体制による声を聴く運動をすすめました。役員による訪問活動の強化と併せ、広域指導員体制（品目担当）と地区担当による営農指導体制を整備しました。さらに、農業融資の専任渉外体制を整え、様々な資金需要に対応しました。

表1 地域営農ビジョン品目の拡大推移

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
品目	トマト ぎんかん 金山ねぎ 子牛生産	トマト ぎんかん 金山ねぎ かぼちゃ	トマト ぎんかん 金山ねぎ かぼちゃ さといも	トマト ぎんかん 金山ねぎ 子牛生産 かぼちゃ さといも らっきょう	トマト ぎんかん 金山ねぎ 子牛生産 かぼちゃ さといも らっきょう いちご
対象農家	1,206戸	1,339戸	1,321戸	1,347戸	1,298戸
作付面積	43ha	108ha	106ha	133ha	140ha
繁殖頭数	10,304頭	10,315頭	10,668頭	10,659頭	10,850頭

表2 声を聴く運動（訪問巡回）実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
SC定例訪問先数	13先	13先	26先	55先
SC・JA同行訪問回数	76延回	52延回	202延回	161延回
JA単独訪問回数	421延回	496延回	839延回	1,340延回

SC：担い手・法人サポートセンター
年度：4月～3月、平成30年度は9月までの半年分を表示



表3 指導員数推移と広域指導体制の充実

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
営農指導員総数	40人	42人	40人	36人
畜産	17人	19人	18人	17人
農産園芸	23人	23人	22人	19人
広域担当			1人	3人
地区担当	23人	23人	21人	16人

表4 農業資金対応の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
制度資金	72件 309百万円	62件 309百万円	88件 409百万円	44件 175百万円
他資金	38件 132百万円	68件 178百万円	90件 188百万円	49件 102百万円

平成30年度は9月末までの実績を表示

Ⅱ 農業生産の拡大・所得増大の取り組み

農畜産物販売事業

【農産園芸】

- 販売強化対策
 - 米、野菜における個別契約取引の強化
 - 買取販売の拡大
 - 米の全量集荷運動と播種前契約による有利販売
 - 部会やJ・kissおごじよによる販売促進活動
- 流通コストの低減対策
 - 部会統合による青果物の量的結集
 - 市場集約による効率化とコスト抑制
- 販売業務体制の強化
 - 農産物検査体制の充実強化
 - 販売事務並びに精算業務の集約と効率化
- 食の安心・安全の取り組み
 - 生産履歴の記帳と回収
 - 残留農薬の自主検査の実施

表5 買取販売の推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
買取販売額	126百万円	114百万円	332百万円
受託販売額	11,724百万円	13,170百万円	13,002百万円
比率	1.1%	0.9%	2.5%



表6 畜産クラスター事業実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	32件	104件	32件	56件
金額	58百万円	207百万円	102百万円	149百万円

表7 全国主要家畜市場黒毛和種平均価格ランキング

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1位	但馬	但馬	但馬	淡路
2位	淡路	淡路	淡路	但馬
3位	薩摩中央	薩摩中央	薩摩中央	薩摩中央
4位	飛騨家畜流通S	曾於中央	曾於中央	始良中央
5位	矢坂	関家畜流通S	始良中央	鳥取県中央



【畜産】

- 子牛生産基盤の維持・拡大
 - 畜産クラスターなど補助事業を活用した増頭対策
 - 優良保留牛の導入助成と増頭助成
 - 遊休施設を活用した新規就農者の育成支援
 - 購買者対応としてせりシステムの更新
- 食肉の安心・安全としてトレーサビリティの遵守
- 防疫体制の強化と啓発

【経営支援】

- 青色申告会を中心とした専門的税務支援
- 金融相談・予約購買との事業連携体制

【直売所】

宮之城ちくりん館・伊佐産直センターを中心に、Aコープ・生協各店の生産者コーナーや、おいどん市場での直販による所得増大

購買事業 生産資材 他

【コスト抑制対策】

- 生産資材
 - 肥料、農薬の品目集約により予約購買のスケールメリットを追求
 - 奨励品と大型規格品を設定した低コスト商品を導入
 - 粗飼料（乾燥草）の大量一括仕入れと農家直接引取りによる価格低減を実現
 - 袋物飼料の集合販売とバラタンク設置の普及拡大
- 燃料・農業機械
 - 免税軽油にかかる申請手続きをサポート
 - 園芸用炭酸ガス発生装置の特別価格での提供
 - 共同仕入れ強化によるトラクター、刈払機等の特別価格提供



Ⅲ 地域活性化の取り組み

くらしと地域社会への貢献

移動販売車「笑味ちゃん号」



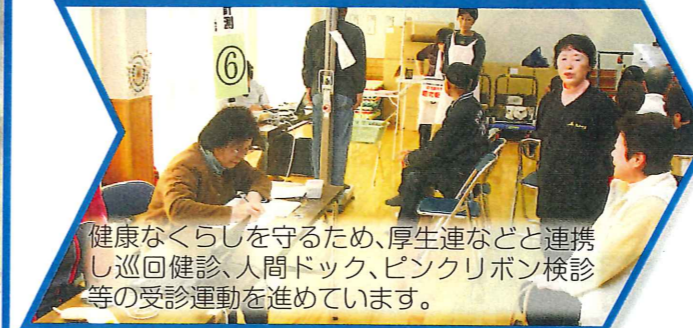
小売店の少ない地域や高齢者の買い物の利便性を高めるために運行。30年11月からは2台体制となります。

移動金融店舗車



統廃合により閉鎖した支所周辺の、組合員や地域の皆様の利便性確保のため運行。貯金のお支払いや公共料金のお支払いは変わらずお任せ下さい。

くらしと健康を守る活動



健康なくらしを守るため、厚生連などと連携し巡回健診、人間ドック、ピンクリボン検診等の受診運動を進めています。

高齢者福祉支援



高齢者が生き生きと過ごせるよう訪問・通所の介護サービスを行っています。今後は宿泊型介護施設の運営を計画しています。

子育て支援



がんばるお母さん・お父さんへの支援として子育て教室を開催。ベビーマッサージやヨガなどの体験教室の他、便利なグッズや情報を提供しています。

交通安全活動



小・中・高校生を対象にした交通安全教室やプロのスタントマンによる自転車教室を開催。また、交通安全運動の立哨等も積極的に行っています。

全職員1地域活動



全職員が地域の行事・イベントに積極的に参加するなど、地域との結びつきを通じ社会貢献に取り組んでいます。

育てよう笑顔プロジェクト



毎年7月第1土曜日の協同組合デーを中心に、全職員でゴミ拾い・除草作業といったボランティア活動を実施しています。